

vol. 11

団地生活の安全・安心・快適をサポートします

JS plus
[ジェイエス・プラス]

JS LIFE DESIGN MAGAZINE
CONTENTS



- 1 特集
さりげなく取り入れる和のある暮らし入門
- 8 快適住まいのミニ知識
「和」の素材で、暮らしの工夫
- 9 随筆
「メモ帳から」その11 大槻茂
- 10 CLOSE UP 団地ライフ
住み続けたい住環境をいつまでも
大阪府富田林市の金剛団地自治会
- 12 平野レミの “フライパンひとつで早ワザごはん”
- 14 こんにちはJSです。
地域との交流を大切に - 業務課
- 16 読者のお便りから READER'S COLUMN
- 17 JSからのお知らせ JS INFORMATION

表紙イラスト: 国分 ^{くに} ^お チェミ

特集

さりげなく取り入れる 和のある暮らし入門

最近、和の小物や雑貨が注目されています。
伝統的な風呂敷をバッグ代わりに使ったり、
手ぬぐいを額に入れて飾ったり
エコグッズやインテリアグッズとして
取り入れ方もさまざま。
今まであまり和に馴染みがなくても大丈夫。
気軽にカジュアルに和風味を取り入れてみましょう。
和雑貨の活用法や取り入れ方など
和のアイテムをさりげなく
日常にプラスする方法をご紹介します。



気楽にカジュアルに、それが和のある暮らしの楽しみ方

今回お話を伺うのは、モノを少なくして楽しく暮らす方法を模索し、その成果を著書やネットで発表、提案している金子由紀子さん。遊び感覚のちょっぴり和風を取り入れた楽しみ方を、日々の暮らしの中で実践しています。すぐにできる和のある暮らしの作り方についてお聞きしましょう。

● カジュアルな和を楽しもう

「暮らしに和を合わせるには、それなりの格調や伝統を踏まえた上でないと難しそうですが……」と切り出すと、「いえいえ、もっと気楽にカジュアルに和を楽しめばいいんですよ」と金子さん。

「最近はおトートバッグを抱えて耳にはピアスをして古い着物を自分流に着こなしたり、携帯に古裂でつくったストラップを下げたり、ちょっとしたことで和を取り入れる人が増え



▲古裂の紐飾りと伽羅(きやら)や白檀(びやくだん)など和の匂い袋の携帯ストラップ。

▲いくつあっても楽しい季節柄の手ぬぐい。赤い布は古裂のお懐紙(かいし)入れ。

首に巻いているのは「子どもの浴衣の帯」とのこと。▶

金子由紀子さん

栃木県生まれ。ビジネス、旅行、ダイエット、教育などの分野の取材・執筆・編集に携わる。結婚後二児を得て、新たなシンプルライフの構築にいそむ日々。主な著書に『毎日をちょっぴりいいに暮らす43のヒント』『ちょこっと和のある暮らしがなんだかとてもワクワクする!』



ています。手ぬぐいや風呂敷も本来の使い方ではなく額に入れて飾るなど取り入れ方もさまざま。たいした知識がなくても、カジュアルな和ならお金や労力をかけなくても大丈夫です。量のない生活でも楽しめるし、本格的じゃなくても、自由な発想で取り入れるといいんですよ」

なるほど、金子さんと話していたら簡単そうに思えてきました。では、具体的な取り入れ方は?

● 季節のお祭りごっこを楽しもう

「まず最初に日曆を見ることから始めましょう」と金子さん。

「旧曆カレンダーを手に入れて旧曆でイベントやお祭りをを行うと、季節とイベントがぴったり合います。母親や祖母の世代は曆が暮



らしの中に息づいていて、秋になればさりげなくススキを飾りダンゴを作って供えていました。私もそうできるようになりたいですね」

和雑貨を使って季節のしつらいを変化させることも大事だと金子さん。

「夏には藤や麻のもので涼しさを演出、冬は炬燵や火鉢を持ち出して暖かい色や素材で季節を楽しむ、季節に応じてインテリアを少しずつ替える。そうやって手間をかけることで、とても豊かな時間が過ごせます。身近な公園で野の花を摘み、葉っぱや木の実を拾って部屋に飾る、そんな小さなことから始めてみてください」



◀本箱や棚の上、足つき台に季節の花を飾る野の花を輪さして、季節を感じます。

● 和が結んでくれる人の輪

「20代の頃には着物をよく着ました。その頃、着物人口の多い神楽坂に住んでいたの、見よう見まねで着ていたら、年配の女性がそっと注意してくれたりして、とても勉強になりました。着物を介して神楽坂のおばあちゃんたちと話が弾んで。シワシワのおばあちゃんがいきいき答えてくれるんですよ」

世代が違う女性同士も、着物や和雑貨のことなら話がしやすいもの。

「それに、私たちの先祖がつくってきた文化をからだで理解するために、着物ってやっぱり必要だと思うんですよ。作務衣で着物気分を味わうこともできるし、生活の中に着物を取り入れてみてください」と金子さん。



◀昔は毎日自分で着るのが当たり前の着物に親しみたい。

ちょこっと取り入れる和なら、すぐにできる

シンプルで落ち着いた空間を作ってくれる和のインテリア。本格的な和テイストでという敷居が高いけれど、カーテンや照明のシェードを和紙にする、ちゃぶ台を置いて低い暮らしにするなどちょこっと取り入れる和ならすぐにできると金子さん。和のある暮らし、思ったより気軽に取り入れることができそう。

● 存在感のある和のアイテムは一点置きがコツ

「竹や木といった和の暮らしに繋がる天然素材や藍染めなど、昔から伝わる和の小物をインテリアにちょこっと加えることで心安らぐ空間になります」

ただし、ここで気をつけなければいけないことがあるそうです。それは……？

「ちゃぶ台を置いて、和柄のテーブルセンターを敷いて、カーテンや座布団カバーは絞り染めで統一するというように、何から何まで全部“和づくし”は観光地の土産物屋

みたいでくどくなってしまいます。和で統一するのではなく、存在感あるアイテムを一点置きするのがしっくりさせるコツ。和のアイテムは案外主張が強いので、部屋のベースになる家具やファブリックなどはプレーンなものを選んだほうが和のインテリアを中和してくれます。そういうシンプルな空間を作って、部屋で一番目立つ場所に気に入ったものをひとつだけ飾ったり置いたりすれば存在感が出ます。数を絞ったほうがすっきりしますね」



▲ 盆栽を扱うガーデンショップなどで手に入る苔玉（こけだま）。植物の土の部分の部分を覆って植え付ければOK。



▲ 金子さんがベランダで育てた稲の穂と綿。和の大皿に載せて目立つ場所に飾ります。

● ひとつ足すごとに、ひとつ引く

「和を取り入れるときはバランスが難しいですね」と尋ねると、「7割方洋風スタイルで、そこに少しずつ和のものを取り入れていくといいですよ」と金子さん。

「たとえば、民芸調の和箆筒をひとこお一竿置いたら、テーブルクロスは白いリネンにする。和紙を使った和風のシェードを天井から下げたらテーブルランプはシンプルなデザインのものにする。こんなふうに“ひとつ足すごとに、ひとつ引く”ことを心がけてインテリアを構成していけば、スッキリと落ち着いた

た中に和のテイストが引き立つ部屋が作れると思います」

金子さんが普段から和のお手本や参考にしているものを教えてくれました。

「古民家カフェを見つけるとよく行きますが、花の飾り方や香りの選び方、食器、座布団まで観察するだけで、おしゃれでかっこいい和の使い方が吸収できる要素がいっぱいあります。和の雰囲気や漂う街を散歩したり、骨董市や古民家、お寺や神社めぐりなど、和心いっぴいのところを見て歩くのも参考になります」



◇ 古民家カフェ ◇

床の間に置かれた香炉から漂う仄かな香り、テーブルに飾られた一輪挿しなどセンスが光る小物使い。空間を味わって観察。古民家カフェは、自分の部屋でも再現したいことがいっぱい。

「和」の素材で、暮らしの工夫

和の素材はほとんどが自然な物です。再利用出来、無駄が少なく、自然にも人にもやさしい和素材を紹介します。

ぬか袋で素肌美人

有名な歌麿の絵にもあるぬか袋は、石鹸が普及するまでの長い間、全身美容に広く使われていました。お肌を磨いてしっとり美しい素肌を育てたり、湯船に浮かべて温まったり、お風呂の時間を楽しませてくれます。セラミド、ビタミンEなど様々な美肌成分が含まれているため、顔ばかりでなく、ひじ・ひざ・かかともしっとりツルツルになります。乾燥するこの時期、ぬか袋で全身からゴワゴワ・ガサガサをなくしましょう。

お茶ガラ再利用

お茶を飲んだ後、茶ガラを捨ててしまっていないですか。もったいない…。栄養があって、食べても良いくらいです。

【お部屋の掃き掃除】湿った茶ガラを畳の上に撒き箒で掃く。これだけで茶ガラがほこりと一緒に吸い寄せられるため、畳の目に入り込んだ小さなゴミやほこりが取れ、カテキンの力で殺菌もするのでとても気持ち良くなります。

【緑茶風呂】乾燥させておいた茶ガラをガーゼ等に適量包んでお風呂に入れ入浴します。包んだ茶ガラで身体をマッサージするのも気持ちいいです。緑茶



風呂は水虫、アトピー、湿疹等の皮膚病に効果が高いといわれています。残り湯は翌日の拭き掃除にも効果的に再々利用できます。

竹炭で快適な住環境

炭はマイナスイオン効果で空気をきれいにし、カビ、ダニの発生を抑え、消臭効果もあることは広く知られていますが、他にもいろいろ使い方があります。面白いところでは、洗剤をまったく使わず竹炭と塩できれいに洗濯できること。他にも●安眠効果。マイナスイオンに包まれた清涼感でぐっすり熟睡。足枕や腰枕としても。●ネットやストッキングに入れて流し口に入れておけば生活排水が浄化されきれいな排水に。

●料理やご飯を炊く時、また飲料水の濾過に利用しても良いですね。



「メモ帳から」その11

大槻茂

鎌倉市の材木座海岸近くに、「万屋」という酒屋がある。酒屋ではあるが、酒好きの社交場でもある。店の一角には、毎晩のように訪れるご近所さんのための丸椅子が数個ある。昭和40年代の中ごろ、無頼派の詩人として知られた田村隆一さんもそんな客の一人だった。夕闇が迫るころ、時には明るいうちでも、この店に顔を出した。

常連は14、5人で、奥さんや子供をつれてくる人もいます。全員が集まると、「家が建てられる」仕事についているらしい。客は自分の飲みたい酒を棚から取り出し、コップにつぐ。酒屋だから、酒は売るほどある。つまみは、これまた商品の缶詰や乾き物など。店主の奥さんが、おでんなどを出してくれることもある。

子供たちの目当ては、この家に住む犬の権三君(10歳)だった。「だった」と書いたのは、11月23日、急死したからである。雑種で真っ黒、ペットショップでさびしげな姿がご主人の目に留まり万屋の一員に。1歳のころに誰だか分からないおやじに棒で殴られたため、右目が不自由だった。だが、権三は人間不信にはならず、人一倍いや犬一倍人懐こかった。店に来る客に吠えることなく、「ゴンゾー」とみんなに可愛がられた。飲兵衛の足元にごろりと寝そべり、目が覚めると常連客や子供たちが交代で散歩に連れて行った。尻尾を振りながら早足で歩く権三のうれしそう姿が忘れられない。

「23日は、朝から具合が悪かったんです。休診日でしたが診てくれるというので、昼ごろ、医者に行こうと抱き上げたら、息を引き取りました」
通夜、葬式には、権三の死を伝え聞いた多くの人が集まった。祭壇には、子供たちが書いた手紙や絵、そして供花が遺影とともに飾られた。世話しい師走にもかかわらず、年の瀬まで毎晩のように偲ぶ会が続いた。

「23日は、朝から具合が悪かったんです。休診日でしたが診てくれるというので、昼ごろ、医者に行こうと抱き上げたら、息を引き取りました」

通夜、葬式には、権三の死を伝え聞いた多くの人が集まった。祭壇には、子供たちが書いた手紙や絵、そして供花が遺影とともに飾られた。世話しい師走にもかかわらず、年の瀬まで毎晩のように偲ぶ会が続いた。

〈ゴンゾー、さんぽ行くヨー〉〈ゴンゾーありがとなー〉(寄せ書きより)



イラスト・ナメ川コーイチ

大槻茂 SHIGERU OHTSUKI
読売新聞社に入社後、社会部、生活情報部を経て、現在、青森大学客員教授。主な著書に「新天皇家の人々」「そばとうどん」「渋谷天外伝」など。

滑川公一 KOHICHI NAMEKAWA
イラスト・漫画修業のため渡仏。帰国後に個展「バリと猫と…」。'82年度日本漫画家協会優秀賞受賞する。作品に「世界のショートショート傑作選」「なにぬねこ」など。

住み続けたい住環境をいつまでも

大阪府富田林市の金剛団地自治会

●ふれあいのあるコミュニティへ

緑と自然に恵まれた素晴らしい景観を誇る丘陵地に誕生した金剛団地は、昭和42年に入居が始まり、翌11月3日に自治会が結成されました。38年目を迎えた現在の総棟数は188棟、戸数は5,032戸という規模の大きな団地です。全国でも珍しい5,000世帯単一の住民自治組織を8代目会長の町中清秀さんがまとめています。会員相互の親睦を図るために、さまざまな行事を開催し、人と人とのふれあいを大切にしてきた自治会。2世代3世代と続けて住む人も多く、若い世代からお年寄りまで交流を深めています。



■若々しい笑顔が印象的な町中清秀会長。

●時代とともに変化する要望に対応

何も無いところからのスタートだったと振り返るのは、事務局長の溝口俊則さん。

「いつときの仮の住まいになるのか、終の住まいになるのか、38年前に入居してきた人たちはそんな思いでこの団地に移ってきたことと思います。自治会が発足し居住者の生活環境改善や、親睦



■関西公団住宅自治会協議会会長も務める事務局長の溝口俊則さん。

を図る取り組みを重ねてきました。ずっと住み続けている人も多く、家族が増えて2DKから3DKに移ったり、高齢者が1階の部屋に移ったり。金剛団地が故郷だという人が多くなってきました」

長年、居住者の生活を守り親睦を図ってきたことは自治会の財産になっていることでしょう。これから手掛けることは？との質問に「これからは少子化、高齢化などの進行が予想されます。子育て支援から高齢者向けサービスまで幅広く対応できる空間が必要だということで、2年前に自治会サロン『つどい』を開設しました。毎週木曜日と土曜日に開館してコーヒーなど飲み物を提供し、多くの居住者に楽しんでもらっています。他に卓球室の貸し出し、階段の手すり設置や道路整備など設備の充実も図っています」



■自治会サロン『つどい』は地域コミュニティの場。

●地道にこつこつ会員サービス

どんど、さくら祭り、盆踊り大会など1年を通して数々の行事が催される金剛団地。居住者相互の親睦やコミュニケーション作りを力を入れていることが伺えます。自治会

今回は創立38年目になる金剛団地自治会におじゃましました。大規模団地の住民自治組織が取り組んでいるコミュニティづくりをご紹介します。

の運営について、事務局の本村国子さんにお話を伺いました。

「毎月、自治会だよりを発行しています。各階段ごとに毎年順番に棟委員さんを決めて会員から毎月300円



■地道な会員サービスを手掛ける事務局次長の本村国子さん。

の会費を集めたり、署名など回覧しています。当番をするのが面倒だ、煩わしいという人が増えていますが、自治会の意義や役割について話せばわかってくれる人も多いですね。自治会では会員向けサービスとして、『サロン』の飲み物代を会員は50円、会員外は100円に、灯油やゴミ袋ははじめ自治会おすすめ「ふる里の味」の会員割引、ふるさと会員カード、お買い物券の発行などさまざまな会員向けサービスを行っています。お買い物券も、住んでいる人たちに安く提供したいから、地域の商店に掛けあって割りきしてもらっています。会員を増やすためにはこつこつやるのが大切だと思います」



■1月のどんど。団地内にある広い中央グラウンドで盛大に。



■10月に開催される運動会。約200人の子も達が集まります。



■4月、桜の下の花見。楽しい宴は大賑わい。



■10回目を迎える三戦争展。地元中学校からも見学に。

こうした細かい努力の積み重ねが、自治会活動を支えているのだと実感しました。



■青いスタッフジャンパーは広い団地の中でも目立ちます。



■便利なふるさと会員カードと5%割引のお買い物券。



■おいしい「ふる里の味」を会員には1割引で提供。

平野レミの

Remi Profile

シャンソン歌手で料理愛好家、
そして二男の母。
夫はイラストレーターの和田誠さん。
シェフではなく主婦として自作料理に情熱を燃やしている。



ひとつで フライパン 早ワザごはん



手間いらず、しかも見た目も華やか。 白菜のほっぽい鍋

白菜をザクザク切って、
ぎゅうぎゅう詰め込んでみましょう。
火にかけた後はほっぽっておいても、
白菜の水分と甘みだけで
勝手においしく仕上がってくれるから、
忙しい時のレスキューメニューにいかが？
リーズナブルな素材をふんだんに使って、
モリモリ食べて温まってね。

■ 材料(4人分)



白菜 …………… 小1株
豚バラ薄切り肉 …………… 400g
(5cm幅に切る)
塩、コショウ …………… 各少々
カラシしょうゆ …………… 適量
ポン酢しょうゆ …………… 適量

■ 作り方



- ①白菜は、根元からザクッとフライパンの深さに合わせた厚さの輪切りにし、形をくずさずにスッポリと入れ、残りの葉の部分も同じ幅に切って葉のすき間に詰め込んでいく。
- ②豚肉を5cm幅に切り、①の白菜の葉の間に間隔をあけながら差し込む。
- ③②に塩、コショウを振り入れて蓋をし、弱めの中火にかける。沸騰したら弱火にして、白菜がお好みの柔らかさになるまで蒸し煮する。
- ④器に取り分け、カラシしょうゆか、ポン酢しょうゆでいただく。



調理時間
20~40
分くらい

技plus

- 白菜はしんなりするとカサが減っちゃうので、ギュウギュウに詰め込むことが仕上がりを華やかに保つコツね。はじめは少しくらい白菜がフライパンから飛び出しても大丈夫よ!
- 豚肉の臭みが気になる方は、蓋をする前に酒を1/4カップ注いでね。

第二回

レミパン 読者プレゼント☆

前回に引き続き、
ご紹介のお料理がさらに簡単においしく作れる
『レミパン』(平野レミ考案)を、
抽選で1名様にプレゼント!
詳しくは16ページに。



こんにちはJSです。 地域との交流を大切に一業務課

今回は、環境を良好に保つことで気持ちよく団地ライフを楽しんでいただけるよう、自治会と協力し、地域との交流に取り組むJS北多摩支店業務課の秋田課長にお話を伺いました。

Q.業務の内容を教えてください。

—— 主な業務は、団地内の清掃・点検と駐車場の管理です。現在北多摩支店では、60団地を手掛け約12000台分の駐車場を管理し



▲JS北多摩支店業務課の秋田課長

ています。管轄内には昭和40年代に建設された大型団地が多く、敷地も広く緑が多いことから、清掃を担当する約80名のクリーンメイトは、団地の美観を保つよう心がけています。当支店の営業領域は広く、多摩川以北21市に跨るため、ゴミの出し方なども行政によって違いがあり細かく対応しています。

駐車場は、常にお客様の身になって管理し異常箇所など不具合を発見したらすぐに対応するように心がけています。

Q.どのような取り組みをしていますか？

—— 各団地の自治会と連携し、協力し合う関係を保っています。自治会の理解をいただきながら居住者の方々の要望に耳を傾け、取り入れられるご意見にはできる限り対応しています。

ゴミ置き場の改善のために、乾電池の回収ボックスを置いたり、ゴミ収集日に応じて

差し替えできる案内看板を設置しています。ゴミの分別ができていない場合はクリーンメイトが行いますが、細かい作業であり、量が多いと分別作業に相当の時間を取られます。このため自治会と協力して、お住まいの方にゴミの分別の徹底をお願いしています。

駐車場では、より使い易くするための改良に取り組んでいます。また、建替事業に伴う新設駐車場への対応では、生まれ変わった団地との調和や美観の維持に気を遣っています。

Q.主要業務以外に手掛けている活動について教えてください。

—— 団地環境の維持向上に努めており、自治会を通じて地域との関わりを図っています。立川若葉町団地では小学生の体験学習に協力しています。隣接する立川市立若葉小学校の児童から団地の清掃業務を体験学習したいという申し出があり、4年前から環境をテーマにした総合的な学習の時間でクリーンメイトが清掃の方法等を教えたりしています。団地の清掃業務を通して、子どもたちが樹木や草花など自分を取り巻く環境に興味を持ってくれるのが嬉しいです。こうした活動を地域の方々が喜んでくださってお礼状をいただくためか、クリーンメイトも教えがいがあるようです。



▲立川市立若葉小学校の全校児童数217名のうち70人が団地より通学(数字は2005年度のもの)



▲団地に住むお年寄りのゴミ出しを手伝う若葉小学校の子どもたち



▲体験学習の子どもたちがクリーンメイトの指導で団地内を掃除

立川市立若葉小学校 清水貞樹校長にお話を伺いました。



▲「クリーンメイト班長の清沢さんには、時間に厳しくするなど学ぶ場として対応していただいています」と、清水校長

「本校では地域における様々な体験学習を重視しています。3年生になると、グループを作って自分たちで課題探しを始めます。子どもたちに全部考えさせるので、資料を調べて終わりになるなどの失敗も経験します。失敗も良い勉強になるでしょう。団地に住む子どもたちは自らの環境を良くしようと考え、団地の清掃をテーマに選び、清掃の方と交渉して体験学習を始めました。活動を通して団地の高齢化にも気づき、階段の上り下りが困難な団地内のお年寄りのゴミ出しを週2回行うようになりました。人とのふれあいを通して、子どもたちは多くのことを学びます。地域の支援や協力により、子どもたちは豊かに成長していく機会を得ています」



▲居住者から「緑が豊か公園のような環境に生まれ変わりました」と喜ばれている若葉町団地の一角



▲若葉町団地では自治会と絡み、落ち葉を利用したマルシェや遊歩道作りなど環境向上に取り組んでいます。

クリーンメイト 清沢班長にお話を伺いました。

「子どもたちから、授業として体験学習したいという申し出を受けました。それで清掃の実態を知っていただくために、団地の説明と仕事内容、清掃道具の紹介などを記したパンフレットを作成して渡したのですが、その資料がいまも下級生に受け継がれています。枯れ葉を集めて袋詰めをしたり、竹ぼうきを使って掃いたり、子どもたちは作業が面白いのか根気よく手伝ってくれます。4年前から毎年、3年生から6年生までのグループが毎月2、3回やってきます。体験学習の活動に対して、自治会と一緒に協力態勢をとっています。清掃をしながら地域の教育機関と関わりを持つことができました。顔なじみになった子どもたちが作品展や行事に招待してくれます。うれしいですね」



▲学習支援ボランティアとしても若葉小学校の子ども達と交流している清沢班長

皆さんの団地生活の様子が伝わってくるような、楽しいお便りをたくさんいただいています。すべてを掲載できないのがとても残念です。

「おたより」

私は大のドラゴンズファンです。ベランダからナゴヤドームが見える部屋は最高です。毎日ドームを眺めてはワクワクする日々を送っています。

名古屋市/I・Kさん



4階建ての2階に住んでいて、ベランダから富士山が見えます！季節は秋から冬にかけて特によく見え、山頂部だけですが、見えるとおもわず有り難くて手を合わせて拝んでいます。

千葉市/G・Mさん



娘が日中お仕事に出かけてしまうので、ババの私が孫の世話しています。孫をベビーカーに乗せて団地内を歩いていると、やはりババに連れられてる赤ちゃんがいっぱい。ババ同士仲良くなっています。

練馬区/Y・Yさん

引越してきて2年。赤と白のコントラストが目立つ建物は訪れる友達に説明するときも分かりやすく、すぐに覚えてくれる(笑)。レトロな感じもお気に入りの我が家です。

大阪市/みかん



皆さんの団地、ゴミの分別はきちんと出来てますか？私の団地は、ビン、カン、ペットボトルが燃えないゴミに紛れ込んでいます。まだまです。

名古屋市/K・Yさん



夏休みのラジオ体操をきっかけに、団地の集会場で毎朝、有志の方々が参加される体操を続けています。朝早くからの皆さんの前向きなエネルギーをいただき、一日を元気に過ごしています。

奈良市/K・Yさん

第二回

レミパン 読者プレゼント

前回に引き続き、本誌同封のアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で1名様に平野レミさん考案の「レミパン」をプレゼントします。締切りは平成19年2月末日(当日消印有効)とさせていただきます。

☆ 第一回当選者 ☆
千葉県 阿崎勝子さん おめでとうございます。レミパンを送らせていただきました。



◆川柳、団地生活気質◆
だんちせいかつかたぎ

世相や団地生活のこと、思いつくまの言葉で五・七・五に並べて下さい。



長男の 年と共に歩む 団地かな
Y・Sさん

大掃除 減量かねて 頑張るぞ！
パンダ

ベランダの ふとん川の字 ほほえまし
お散歩おばさん

ハイハイで フローリングが ぴっかぴか
UR MaMa

秋桜の 揺れる花びら 団地坂
K・Kさん

小春日を 子らとたのしむ 午睡かな
Y・Kさん

故郷を 聞かれ団地の 五階です
Y・Hさん

お便りをお待ちしています。

お便りを掲載させていただいた方には謝礼をお送りいたします。

宛先は、
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9

JS日本総合住生活(株)広報課
「JSplus読者のお便りから」係

* お便りには郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書き添えてください。

● モニター会議のご報告

JSではお客様のご意見、ご要望をお聞かせいただく場の一つとして、モニター会議を実施いたしておりますが、17期の最終となるモニター会議を10月から12月にかけて全国で開催いたしました。モニターの皆様には、貴重なご意見を頂戴し、そのご意見を弊社の業務に活用させていただいております。忌憚の無いご意見、ご提案をお伺いする場として、モニター会議を今後も継続させていきたいと考えております。また、17期のモニターの皆様には、2年間の任期満了をお迎えいただき、厚く御礼申し上げます。



● JSplusは管理サービス事務所にも置かれています。ぜひ、多くの方のご愛読をお願いいたします。

● 次号JSplusの発行は平成19年3月の予定です。